

2019年度
一橋大学大学院経営管理研究科 博士後期課程
(経営管理専攻 金融戦略・経営財務プログラム) 編入学 学生募集要項

博士後期課程金融戦略・経営財務プログラムは、ファイナンス（アセット・アロケーション、リスク・マネジメント、コーポレート・ファイナンス、アセット/デリバティブ・プライシング、ファイナンシャル・エンジニアリング等）に関する高度な実務上の問題解決のために、科学的厳密さと創造力を兼ね備えた高い水準の研究を遂行する能力を持ち関連する理論的問題に精通した、研究者及び実務家を養成することを目的としています。この目的のため、入学者には、明確な目的意識を持ちつつ、独自の学術的貢献を含む博士論文を完成させることにより、本プログラムで培った能力を証明することが求められます。

本プログラムは、金融実務上の高度な問題を扱うための問題意識を重視します。志願者には、社会人としての実務経験があることが望ましいですが、実務経験がない場合でも十分な問題意識が認められるならば、特例として入学を認める場合があります。勤務を継続しながら本プログラムに編入学を希望する場合は、十分な学習時間を確保できることが条件となります。

本プログラムの研究分野と異なる分野で修士課程を修了した志願者は、その後の実務において行った研究結果や業務上の報告書等を提示することにより、本プログラム編入学のための準備の程度を示すことが求められます。

また、本プログラムとは異なる分野の修士課程を修了する見込みの志願者は、本プログラムにおける研究のための準備の程度を示す資料を提出するか、研究計画書のなかにおいて記述を行うことが求められます。

受 講 条 件：4月入学、一部科目を除き日本語で授業を行う。

授 与 学 位：博士（経営）

所 在 地：東京都千代田区一ツ橋2丁目1番地2 学術総合センター

次の要件のいずれかに該当する者は進学要項について応募してください。

- (1) 本学国際企業戦略研究科専門職学位課程を修了した者及び2019年3月に修了見込みの者
- (2) 本学商学研究科修士課程を修了した者及び2019年3月に修了見込みの者
- (3) 本学経営管理研究科修士課程又は専門職学位課程を修了した者及び2019年3月に修了見込みの者

1. 学生募集人員

経営管理専攻（金融戦略・経営財務プログラム） 4名（進学者を含む）

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 本学国際企業戦略研究科研究科金融戦略・経営財務コース以外のコース、本学他研究科又は他大学大学院の修士課程（博士前期課程）若しくは専門職学位課程を修了した者及び2019年3月までに修了見込みの者

- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2019年3月までに授与される見込の者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2019年3月までに授与される見込の者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2019年3月までに授与される見込の者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2019年3月までに授与される見込の者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 経営管理研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めたと認めた者で、24歳に達した者及び2019年4月1日までに24歳に達する者^注
- (8) その他経営管理研究科において、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めたと認めた者^注

注) 上記(7)、(8)に該当する者は、出願資格の審査が必要となります。以下審査書類受付期間より前に、本研究科事務室にメール、chiyoda-info@hub.hit-u.ac.jp、手紙、ファックス(03-4212-3006)にて申し出て、その指示に従い必要書類を提出すること。

書類受付期間：2018年11月01日（木）から11月30日（金）

提出書類には証明書等発行に時間がかかるものもありますので余裕をもってご連絡ください。

3. 出願書類

書類等	提出対象	摘要
志願票	全 員	所定の書式に所要事項を記入し、写真を添付したもの。
修了（見込）証明書 ※学士、修士、博士にかかわらず、保有する学位すべての証明書が必要です。	出願資格(1)の方	出身大学長（研究科長でも可）が作成したもの。修了見込者は見込み証明書をもって代える。
	出願資格(2)、(3)、(4)の方	出身大学院の修了（見込）証明書及びM.A.又はMBA等の授与（授与見込）証明書
	出願資格(5)、(6)の方	出願前に一橋大学千代田キャンパス事務室へ問い合わせてください。
学業成績証明書 ※学士、修士、博士にかかわらず、保有する学位すべての証明書が必要です。	全 員	出身大学長（研究科長でも可）が作成したもの。
在職証明書	該当者のみ	勤務先あるいは過去に勤務していた企業・官公庁等が発行したもの。在職期間又は実務経験期間を明示してください。 在職証明書の取得が困難な事情がある場合には、出願前に一橋大学千代田キャンパス事務室へ問い合わせてください。
修士論文又はそれと同等の内容を有する論文、又は業務上作成した研究論文 3部	全 員	全て日本語若しくは英語で書かれたものに限り、未発表のものや、複写したものでも可。
修士論文又はそれと同等の内容を有する論文、又は業務上作成した研究論文の要旨 3部	全 員	提出する論文の要旨を、A4判用紙縦に横書き、日本語で5枚程度にまとめてください。活字の大きさは12ptとします。 提出部数：正本1部、副本（正本の写し）2部、計3部

研究計画書	3部	全 員	所定の要領に従って作成したもの。(詳細は別紙「研究計画書作成のために」参照) 提出部数：正本1部、副本(正本の写し)2部、計3部
評価報告書		全 員	所定の書式を用い、志願者の職業上又は学術上の経験・能力を知る者(勤務先の上司・大学院の指導教員など)が作成し、厳封したもの。 評価報告書を提出できない場合は、所定の書式に志願者自身で作成してください。この場合は、厳封の必要はありません。
住民票の写し		外国人出願者	市区町村長の発行する在留期間、在留資格が記載されたもの。外国人登録を済ませていない者は、パスポートの写し。

注) 提出書類の中に英語以外の外国語で書かれた証明書、文書等がある場合には、その日本語訳を添付してください。ただし、英文の場合は不要です。

提出書類に不備があった場合は、審査対象とはなりませんのでご注意ください。

4. 入学検定料

入学検定料 30,000円	<p>※日本在住の者：銀行振込により納入してください。 振込先：三井住友銀行国立支店 口座名義：「国立大学法人一橋大学経営管理研究科検定料口」 口座種別、口座番号：「普通預金7761740」</p> <p>なお、振込の際、名前の前に「636」の番号を入力してください 必ず利用明細又は、振込受取書のコピーを出願書類と一緒に添付してください。</p> <p>※日本国外に在住の者：一橋大学のホームページからクレジットカード決済により納入してください。 http://www.hit-u.ac.jp/admission/index.html</p> <p>※日本政府(文部科学省)奨学金留学生：入学検定料は振り込まずに、その旨を証明する所属大学発行の証明書を添付してください。</p> <p>振込期間：2019年1月9日から1月15日</p>
------------------	--

5. 出願方法

志願者は、入学検定料を振り込みの上、上記3の出願書類及び利用明細又は振込受取書のコピーを一括し、封筒の表に「博士後期課程金融戦略・経営財務プログラム願書在中」と朱書きの上、所定の期間内に必着するよう郵送(書留郵便)で提出してください。なお、出願書類は直接持参しても受けませんので注意してください。

外国から出願する場合は、日本在住の代理人が出願書類等を提出することとなります。

出 願 期 間： 2019年1月9日(水)から1月15日(火)まで [1月15日消印有効]

願書の提出先： 〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内
一橋大学千代田キャンパス 事務室

6. 選考方法

第1次試験（書類審査及び論文審査）、及びその合格者に対する第2次試験（口述試験）の結果を総合して合否を決定します。

(1) 第1次試験（書類審査及び論文審査）

書類審査： 志願者の基礎的学力について審査を行います。研究計画書では研究テーマの内容及び立案・計画能力を判断します。

論文審査： 研究を遂行し論文を完成させる基礎的能力について審査を行います。

合否結果及び第2次試験の実施日時については、2019年1月30日（水）13:00にメールにて通知します。

(2) 第2次試験（口述試験）

① 第1次試験（書類審査及び論文審査）に合格した者を対象に行います。

口述試験の際には必ず第1次試験結果通知書を持参してください。

期 日	試 験 科 目	試 験 時 間
2019年2月3日(日)	口 述 〔提出された書類及び論文等に基づき、専門に関連する事項、その他について行います。〕	9:30 ~ 17:00

② 第2次試験(口述試験)試験場

東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内 一橋大学千代田キャンパス
(地下鉄竹橋駅より北へ徒歩約5分又は、神保町駅より南へ徒歩約5分)

7. 合格者発表

日 時： 2019年2月14日（木） 13:00

場 所： 一橋大学千代田キャンパス事務室掲示場

また、合格者受験番号を本研究科ウェブサイトに掲載します。

一橋大学大学院経営管理研究科ウェブサイト：<http://www.hub.hit-u.ac.jp>

なお、合格者には、合格通知書及び入学手続書類を郵送します。

8. 入学手続

(1) 入学手続期間

2019年3月5日（火）から3月11日（月）まで。

(2) 入学料の納入額

入 学 料： 282,000 円

入学料については、入学手続期間内に納入がない場合、入学辞退者となります。

(注) 本学には、入学料・授業料の免除・徴収猶予の制度がありますので、希望する場合には、入学料・授業料を納入せずに、入学手続時に申請書類の交付を受けて、所定の期間内に申請を行ってください。(納入後の免除・徴収猶予の申請は出来ません。また、免除申請においては、免除実施額が僅かであり不許可者が多数発生する等、全般的に厳しい状況にあるので、入学料・授業料納入の準備は事前に十分行ってください。)

(3) その他

入学手続きに必要な書類とその提出方法については、合格者に改めて通知します。(2月下旬)

授業料(267,900円(年額535,800円のうち半期分))については、入学後に納入することとなります。納入時期、納入方法については改めて通知いたします。

現在本学修士課程及び専門職学位課程(所属研究科は問いません。)に在学している者は、入学料の納入は不要です。

入学料・授業料の納入金額は、予定額であり、入学時又は在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな納入金額が適用されます。

(4) 追加合格

入学手続き後、欠員が生じた場合は追加合格者の決定を行う場合があります。追加合格者に対しては電話等で連絡します。追加合格者の発表は掲示しません。

9. その他

(1) 国際学生館景明館及び国際学生宿舎(学生寮)について

本学国際学生館景明館及び国際学生宿舎(学生寮)への入居希望者は、2018年12月中旬に本学ホームページに「入居者募集要項」を公表しますので、要項に従い申請してください。

: <http://hit-u.ac.jp/shien/campuslife/apartment.html>

10. 注意事項

- (1) 気象状況や公共交通機関の遅延・運休等が入試実施に影響を及ぼす場合等、受験者に対し緊急連絡を行う場合は、本研究科ウェブサイト(<http://www.hub.hit-u.ac.jp>)にて通知します。
- (2) 入学試験に関する照会は、書面によるものとします。一橋大学千代田キャンパス事務室宛てにメール chiyoda-info@hub.hit-u.ac.jp、郵便又はファックス(03-4212-3006)で送付してください。電話による問い合わせには応じません。
- (3) 経営管理研究科WEBサイトに、カリキュラム、授業時間帯、年間スケジュール等の情報を掲載しておりますのでご一読ください。[<http://www.fs.hub.hit-u.ac.jp/>]
- (4) 出願後の志望研究科、専攻、コースの変更は認めません。なお、志望するコース以外の教員の演習は選択できないので注意してください。
- (5) 出願書類及び既納の入学検定料は返却しません。
- (6) 各種証明書は必ず原本を提出することとします。複写したものは受理しません。ただし、複写可の断り書きがある書類については、この限りではありません。
- (7) 出願書類の記入にあたっては、原則としてパソコンを使用することとします。
- (8) 障害等があり受験上及び入学後の修学における配慮を希望する者は、本研究科の出願に先立ち、2018年12月4日(火)までに、千代田キャンパス事務室に相談を申請してください。(上記日以降にも相談申請を受け付けますが、その場合、受験上の配慮が間に合わないことや、修学上の配慮については希望日に開始できないこともあります。)事前相談の申請は、本学への出願を義務付けるものではありません。本研究科への出願が未定であっても事前相談申請を受け付けております。**※希望する配慮内容によっては、回答に時間を要することがあります。**
- (9) 入学手続き後、どのような事情があっても、入学料の払い戻しはしません。
- (10) 入学試験合格者の個人情報及び成績は、入学後の教育・学業支援等の目的に使用することがあります。

2019年度

一橋大学大学院経営管理研究科 博士後期課程 入学志願票

志望専攻名及び志望プログラム		経営管理専攻 金融戦略・経営財務 プログラム					
研 究 題 目							
氏名	(フリガナ)	男 ・ 女	出身 大 学	大学院		研究科	
				課程		専攻	
	西暦 年 月 日生 (歳)			西 暦	年 月	修 了 修了見込	
写真貼付欄 1. 最近3ヶ月以内に撮影 2. 正面向き上半身脱帽 3. 縦6cm×横4cm 4. 裏面に氏名を記入	氏名の ローマ字表記	姓 (Family Name) 名 (Given Name) (Middle Name)					
	現住所	〒 電話 () メールアドレス:					
	現勤務先 所属部署 役職	社名: 部署名: 役職:					
	業 種 (○で囲む)	1. 銀行・リース 2. 証券 3. 保険 4. 資産運用 5. 貿易商社 6. コンサルティング 7. 監査法人・税理士法人等 8. 製造業 9. 建設 10. 運輸 11. ガス・電気 12. 情報・通信 13. 小売り流通 14. サービス業 15. 官公庁 16. その他 ()					
外国籍の者は小学校入学から記入すること、 外国籍の者は日本国籍の者は中学校卒業から、	学校名及び所在地		学部・研究科等名	修業年限	入学及び卒業年月(西暦)		取得学位等
	学校名 所在地			年	入学 卒業	年 月 年 月	
	学校名 所在地			年	入学 卒業	年 月 年 月	
	学校名 所在地			年	入学 卒業	年 月 年 月	
	学校名 所在地			年	入学 卒業	年 月 年 月	
	学校名 所在地			年	入学 卒業	年 月 年 月	
受験実績	TOEFL・TOEIC・()			年 月	点		
職 歴	勤 務 先 名	勤務年数	勤 務 期 間 (西暦)		職 務 内 容		
		年	年 月から 年 月まで				
		年	年 月から 年 月まで				
		年	年 月から 年 月まで				
		年	年 月から 年 月まで				
		年	年 月から 年 月まで				

注) 職歴欄が足りない場合は、裏面に適宜記入してください。

評価報告書

一橋大学大学院経営管理研究科博士後期課程金融戦略・経営財務プログラム入学試験の重要な情報となりますので、できるだけ具体的かつ、お考えの評価が正確に伝わるようにお書きください。ご協力に感謝いたします。

【評価報告者と申請者（入学志願者）との関係】

1. あなたは、この志願者をどの程度の期間、どのような関係でご存知ですか？ 評価報告者と志願者のご関係等、できるだけ具体的にお答えください。

評価報告者と志願者との関係（具体的に）

期間

年 月から 年 月

評価報告者（直筆サイン又は印）：

志願者：

2. 業務、教育、あるいはその他の機会において、あなたから見たこの志願者の評価を、以下の項目についてお答えになり、ご評価の点数を対応させて下記の6角形のグラフを完成させてください。

(a) 総合評価： 志願者は、本博士課程に

1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8-----9-----10

全く適さない

極めて適している

また、それは志願者のどのような資質によるとお考えでしょうか？ 具体的にお書きください。

(b) 基礎的な学力と理解力

1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8-----9-----10
極めて劣っている 極めて優れている

また、それはなぜでしょうか？ できるだけ具体的な事例を挙げてお書きください。

(c) 問題の本質を見抜き、新しいアイデアを着想する力

1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8-----9-----10
極めて劣っている 極めて優れている

また、それはなぜでしょうか？ できるだけ具体的な事例を挙げてお書きください。

(d) アイディアを具体的な企画に変え、それを実現に結びつける力

1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8-----9-----10
極めて劣っている 極めて優れている

また、それはなぜでしょうか？ できるだけ具体的な事例を挙げてお書きください。

(e) アイディアを的確に説明し、人を説得する力

1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8-----9-----10
極めて劣っている 極めて優れている

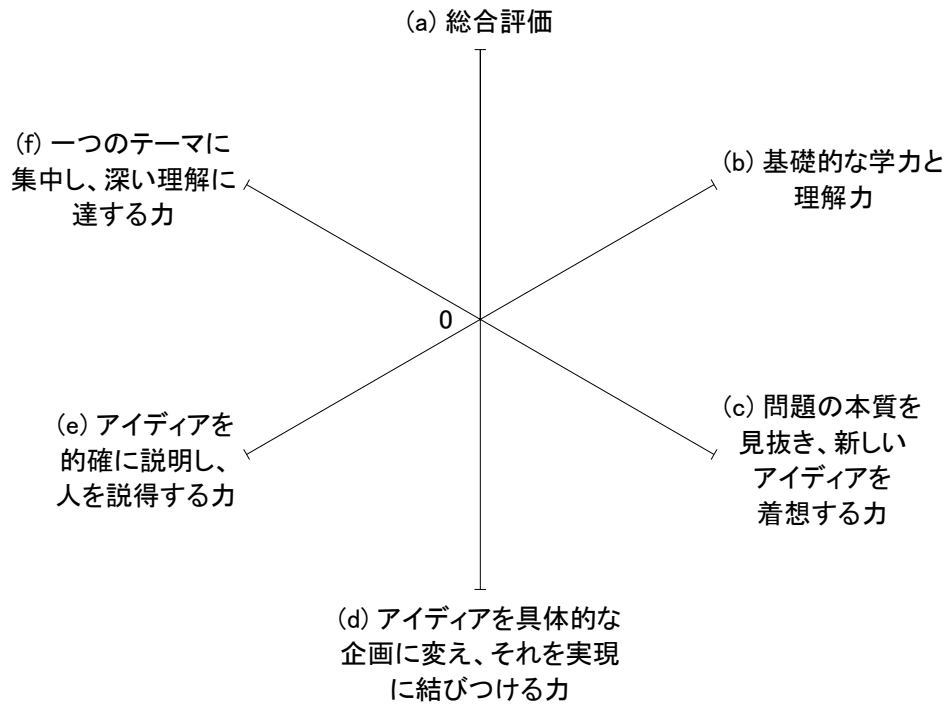
また、それはなぜでしょうか？ できるだけ具体的な事例を挙げてお書きください。

(f) 一つのテーマに集中し、深い理解に達する力

1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8-----9-----10
極めて劣っている 極めて優れている

また、それはなぜでしょうか？ できるだけ具体的な文献や事例を挙げてお書きください。

評価報告者による志願者の能力評価



以上の項目以外にも付け加えるべきとお考えになる長所若しくは短所があれば、その具体的なお説明とあわせてお書きください。

3. 志願者と同様の環境（職場、大学等）で、いままでに何人をご覧になってきましたか？
その中で、この志願者は上位何%に属するとお考えですか？

以上

研究計画書作成のために

金融戦略・経営財務プログラムにおいては、講義科目は基礎的・専門的な知識と方法論を体系的に身につけるためのもの、演習（ゼミ）は講義で培われた基盤の上に各自の研究を進めるためのものと位置付けられています。博士後期課程においては、当面、演習（ゼミ）を中心に研究・教育を行います。本プログラムを志望するにあたり、あなた自身の研究計画について現在のお考えをお書きください。研究テーマは、理論から実践まで何でも構いませんが、ポートフォリオ運用、財務戦略などの実践に結び付けるところまでお考えください。

研究計画書は表紙1枚（ページ）、内容10枚（ページ）、合計11枚（ページ）とします。提出論文等の添付資料は枚数に含めないでください。作成にあたっては原則としてパソコンを使用し、A4用紙縦に横書き、日本語でお書き下さい。活字の大きさは12Ptとします。

第1次審査（書類審査）の重要な部分ですので、以下の要領に従い、お考えの研究計画や目標ができるだけ正確に伝わるようにお書きください。

表紙【第1ページ】

表紙には、研究したい内容の題目（1行以内）、その下に志願者本人の名前、さらにその下に研究したい内容の要約（10行以内）を記してください。

第1章 研究テーマ【第2ページから第5ページ】

第1節：研究のモチベーション

選択したテーマを研究したい理由と背景を説明してください。

第2節：既存の研究の要約

研究テーマに関する既存の研究結果の紹介と概略を説明してください。

第3節：研究したい内容

- (1) 研究対象の何を明らかにしたいのか
 - (2) その問題にどのように取り組めば良いと考えるか
 - (3) この研究が既存の研究にどのような新しい知識を加えることになるのか
- 等を具体的に説明してください。

第4節：研究成果の利用法

理論から実践まで何でも構いませんが、ポートフォリオ運用や財務戦略等の実践にどのように結び付けていくか、できるだけ具体的に説明してください。

第5節：これまでの活動

その研究のために、あなた（志願者）がこれまで行ってきたことを説明してください。

第2章 研究に関する文献【第6ページ】

第1節：第1章で既存の研究として挙げた本・論文のリスト

第2節：これまでの研究活動で読んだ本・論文のリスト

第3節：今後読まなければならないと思っている本・論文のリスト

〔第3節で挙げる本や論文については、それらから具体的に何を学べると予想されるかについても簡単に書き添えてください。〕

第3章 研究に使用したいと考えるデータ・設備【第7ページ】

研究テーマとの関連と利用法を明らかにしながら、使用したいと考えるデータ・ソフトウェア・設備などをできるだけ具体的に説明してください。

第4章 論文及び報告書【第7ページ】

いままでに書いた論文の中から、学術雑誌や本に掲載されたものか、そうでなければ特に優れているとお考えのものを選び、それらの題目と要約を記してください。学術雑誌記載の場合は、査読付きと査読無しの区別を示してください。また、本章に記載した論文のコピーを研究計画書に同封し提出してください。ただし、学士論文や修士論文の場合は論文そのものではなく、代わりに A4 用紙に 12Pt で1 ページ程度にまとめた要約を提出してください。

第5章 基礎知識と構想（ビジョン）【第8ページから第10ページ】

この章は、あなた（志願者）が、本プログラムで研究を進めていくために必要な一般的な知識をどれだけ持っておられるか、また上記研究計画の背景にどのような構想を抱いておられるかを理解するためのものです。

記載事項に基づき研究指導のプランを作りますので、得点等に関する自己申告部分の記載に誤りがある場合は、入学後、勉学・研究の進捗に障害をきたし、双方の不利益となりますので、出来るだけ正確にお書きください。

- (1) 英語の力はどの程度ですか？ 英語で書かれた本や論文を読みこなし、英語で議論することができるのでしょうか？ そのような経験がありますか？ 海外勤務や留学の経験がある場合には、勤務・留学先、期間、内容等について簡単に記してください。また英検・TOEFL・TOEIC 等の試験を受けている場合には、その点数を書き、可能ならば得点表のコピーを同封してください。さらに、購読している英文雑誌があればそれを記してください。
- (2) 数学の力はどの程度ですか？ 充分読みこなしした教科書の書名と著者名を列記してください。さらに、学部や大学院で習得した数学科目名とその成績も記載してください。また、現在、業務に数学の知識を直接・間接に役立てている場合には、その数学の分野の名称と、利用する本の書名と著者名、及び利用の仕方とあなたの評価を簡潔に述べてください。
- (3) 統計学、データ分析はどの程度勉強しましたか？ 充分読みこなしした教科書の書名と著者名を列記してください。さらに、学部や大学院で習得した統計学、データ分析の科目名とその成績も記載してください。また、現在、業務に統計やデータ分析の知識を直接・間接に役立てている場合には、その統計学の分野の名称と、利用する本の書名と著者名、及び利用の仕方とあなたの評価を簡潔に述べてください。
- (4) 金融や経済の勉強はどの程度しましたか？ 充分読みこなしした教科書の書名と著者名を列記してください。さらに、学部や大学院で習得した金融や経済関連の科目名とその成績も記載してください。また、現在、業務にこれらの知識を直接・間接に役立てている場合には、その金融論・経済学の方の分野の名前と、利用する本の書名・著者名、及び利用の仕方とあなたの評価を簡潔に述べてください。

- (5) コンピュータはどの程度利用できますか？ よく使うソフトウェアの名称とその利用方法、さらにそれらのソフトに関するあなたの評価を具体的に記してください。また、いままでに利用した、金融統計データ分析や金融実務に関するソフトウェアを記し、何にどの程度利用したか具体的に書いてください。
- (6) あなたが得意とするもの、またこの金融戦略プログラムに自分が如何に適しているかについて、自分で申告したい事柄を自由にお書きください。
- (7) あなたは、社会人あるいは学生として、どのようなことをどのようにして達成しましたか？ 具体的に記してください。金融に関係なくても構いません。
- (8) あなたが現在の職業（大学院生も含む）を選んだ理由はなんでしょうか？
- (9) あなたは、本プログラムを卒業後、どのような進路を考えていますか？ 研究者（大学、研究所等）となる、実務家として働く（同じ会社に戻る、別の会社に移りたい、自分で会社を作りたい等）、行きたい仕事や作りたい会社の内容を含め、構想を具体的に説明してください。
- (10) 変革期にある現代、これから世界はどのような方向に向かって行くのか、その中で日本はいま抱える問題をどのように解決して行けば良いのか、そしてその場であなたはどのような役割を担いたいと考えるのか、お考えを簡潔に論じてください。
- (11) 最後に、音楽、絵画、彫刻、建築、文学、哲学、スポーツ等、あなたが興味を持ち、評価するものがあれば、簡潔に記してください。

第6章 その他【第11ページ】

以下の質問に簡潔にお答えください。

- (1) 演習での指導は必ずしも単独指導ではなく、集団指導であることが予想されます。特に指導を受けたいと思っている教員名とその理由を挙げてください。
- (2) あなたは、この博士後期課程金融戦略・経営財務プログラムで、あなたの求める勉強が充分できると思えますか？ 不足するとお考えの点があれば、お考えの理由とともに書きください。

以上